

病院だより96



美祿市立病院
外科医長 桑原太一

美祿市立病院 医師の紹介

この4月より前任の山口大学附属病院から常勤医師として勤務させていただくことになりました、外科の桑原です。「平成」から「令和」へ、新たな時代の幕開けとともに美祿市の皆さんの健康を担う美祿市立病院で働けることをとてもうれしく思います。

私の出身地は、美祿市の隣の長門市です。長門市は日本海に面した美しいまちです。そこで小学校から高校までを過ごしました。勤務するまであまり意識して見ることはなかったのですが、美祿市の第一印象は、カルスト台地に代表されるように緑豊かなまちです。通勤時に目に入ってくる山々や田畑の四季の変化がいまから非常に楽しみです。

少し仕事の話をしてします。一口に外科といっても中々イメージがわきにくいのではないかと思います。

外科は、心臓外科、血管外科、脳外科、整形外科など、専門分野によって細分化されています。その中でも私たちの仕事は、お腹の中の病気や外傷などを扱うことを得意とする消化器・一般外科になります。身近なものとしては、急にお腹が痛くなる虫垂炎や胆嚢炎、脱腸などと呼ばれる鼠経ヘルニアから、お腹の中の悪性腫瘍（胃癌や大腸癌など）まで治療をしています。お腹がおかしいと感じてもいきなり外科への受診は敷居が高いと思われる人は多いのではないのでしょうか。悪性腫瘍の中でも胃や大腸は罹患数が多い部位になります。医療技術は日々進歩しますので、早期に発見された腫瘍であれば、手術ではなく、内視鏡（胃カメラや大腸カメラ）で切除することも可能です。もちろん進行度によってはその限りではありませんが、病状にあった適切な治療をその都度提供できたらと考えています。「胃がムカムカする」、「みぞおちのあたりが重たい感じがする」、「最近、便秘がちだな」など、些細と思われる

日常の変化にも病気がかかっていることがあります。大学時代は6年間、部活動でラグビーをしており、忍び寄る経年劣化を実感しつつも、まだまだ体力には自信があります。現在プレーはしていませんが、スポーツ全般の観戦や読書が好きです。話しやすい雰囲気を作っていけるように努めてまいりますので、外来に限らず、入院中も見かけたら気軽に相談してください。

最後に、ある本の一説からの受け売りですが、私の好きな言葉に「世のためを思い、他人を敬い、精進を怠らない」というものがあります。当たり前のことですが、どんな職業や行為にも当てはまり、人が人と生活していくうえで必要なことを平易な言葉で表していると思います。今後も自己の研鑽に励むとともに、美祿市の皆さんを思い、寄り添いながら、皆さんの健康に少しでも貢献できたらと考えています。これからよろしくお願ひいたします。

問い合わせ先 美祿市立病院 ☎0837(52)1700